KOBE MODERN CULTURE

美術

★メトロポリタン美術館 西洋風景画の流れ

6月7日(土)～7月13日(日) 神戸市立博物館 一般900円、高大生700円、小中生500円

ルーブル美術館、エルミタージュ美術館とならんで世界3大美術館に数えられるニューヨーク・メトロポリタン美術館。そのコレクションは世界各国に及び、人類の長い美術の歴史を幅広く見わたせるものである。

「山の渓流」

特に今回は同館スタッフが厳選した48点によって、17世紀から20世紀に至るまでの西洋風景画の流れをたどることができる。コロー、ピサロ、モネ、ルノワールなどのヨーロッパ絵画の優品のほか、日本ではまとめて紹介されることの少ないアメリカの著名な画家の作品で構成されている。

大部分が日本未公開の作品で、自然をとらえる画家の「眼」を通して、人がどのように自然に接したかを読みとることができる意義深い展観である。

音楽

★ウィンナ・ワルツの夕べ

6月9日(月)18時半 神戸国際会館 S6000円 A5000円 B4000円 C3000円

世界中の人々に愛され親しまれ続けている「ウインナ・ワルツ」。このウィーン気質あふれる名曲の数々を披露してくれる「ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団」はワルツの父と呼ばれたヨハン・シュトラウスI世の手によって一八二五年に結成された、伝統ある楽団。

ウィーンの香りを…

ウイーンで生まれ育ったオーケストラにしか表現のできない、しやれた中にも厚みのある独特のサウンド。今回は恒例の〝ニューイアーコンサート〟をそっくり日本に持ってきた内容になっている。本場の香りをそのままに、華麗に繰りひろげられるウインナ・ワルツの決定版。

演劇

★劇団民芸公演 イプセン作「人形の家」

6月3日(火)18時半 神戸文化中ホール 1F3300円 2F2800円(全席指定)

近代劇の確立者といわれるノルウェーの作家イプセンの名作。女性解放の問題劇ともいわれるが、劇団民芸によって28年ぶりに上演されるこの舞台はむしろミステリーの色あいが強い。

南風洋子　内山鶉

幕あきからドラマはサスペンスをはらんで展開し、事件が解決とみえたときに人間のドラマがはじまる。クライマックスで裸にされた人間こそが、底しれぬ謎であり、その謎にふみこんだ主人公ノラは、自己発見のために家出を決意する。出演は樫山文枝、南風洋子、新田昌玄、演出他・内山鶉。

★男と女の愛の詩 デュラスの「奏鳴曲」

6月27日(金)18時半 28日(土)14時半 ピッコロシアター 一般2800円 高校生2300円

離婚の手続きのため三年ぶりにあった男と女。二人はかつての愛の巣であったホテルのロビーで、めぐりあう。初めはよそよそしい会話も、夜が更けるにしたがい過去の日々がよみがえってくる。地獄の日々と優しさの極み…。絶望した二人に、やがて白々と夜が明ける。

二人芝居の妙

84年に出版された自伝的小説「愛人」が大ベストセラーになり日本にも多くのファンをもつマルグリット・デュラスの作。今回の作品は愛と欲望、生と死、不可能な愛といったテーマをより深く追求したものになっている。男と女に中山仁と吉行和子、装置・朝倉摂、衣裳・ピーコと熟練したキヤストとスタッフで大人の芝居が楽しめそうだ。

映画

★クラッシック ムービーフェスティバル

6月7日(土)～17日(火)
雨に唄えば　11時15分　13時15分
15時15分　17時15分　19時15分
6月18日(水)～7月1日(火)
哀愁　11時10分　13時10分　15時10分
17時10分　19時10分

雨に唄えば

7月2日(水)～7月11日(金)
心の旅路　11時35分　13時55分
16時15分　18時35分
新アサヒ劇場（中央区役所北側）
一般1200円　学生1100円
3番組通し回数券3000円

映画ファンが投票で選ぶクラシックムービーフェスティバルの第2回は、ミュージカルの名作〝雨に唄えば〟と、ハリウッド一の美男・美女、ロバート・テイラーとヴィヴィアン・リーの〝哀愁〟、そしてジェームズ・ヒルトンのベストセラー〝心の旅路〟の三本。あのときめきをもう一度、思い起こして下さい。

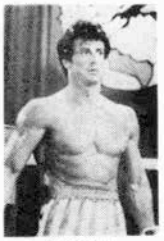
★この映画のチケットを5名様にプレゼント。希望者は葉書に住所・氏名を明記、神戸っ子〝新アサヒ〟係

★ロッキー4登場 今燃え上がる〝炎の友情〟

6月7日(土)より朝日会館にてロードショー
一般1500円　大・高生1300円　中学1200円

シルベスター・スタローン脚本・監督・主演の〝ロッキー〟が、愛と夢と友情を勝ち取るため、再びリングに上がる。親友アポロをソ連の戦闘マシーン、ドラゴにリング上で殺されたロッキーが挑むデスマッチ。アメリカンドリームを実証してみせた男、スタローンが炎と燃える。

★この映画のチケットを5名様にプレゼント。希望者は葉書に住所・氏名を明記の上神戸っ子〝朝日会館〟


燃える男

音楽

★関西二期会第25回オペラ公演「フィガロの結婚」
指揮／井上道義
6日(金)7日(土)18時15分　8日(日)14時　アルカイックホール
S6000円　A5000円　B4000円　C3000円

★KCAファミリーコンサート〝可憐な女たち〟
ソプラノ／片岡啓子
9日(月)19時　兵庫県民小劇場
2700円　当日3000円

★魅惑の今宵をあなたと共に―クラシック&ポピュラー
11日(水)18時半　神戸文化中ホール　3000円

★前橋汀子ヴァイオリンリサイタル
14日(土)18時半　神戸文化中ホール　2500円

★庄島道子独唱会
17日(火)19時　神戸文化中ホール
2000円

★ドニプロ・ウクライナ共和国民族舞踊アンサンブル
18日(水)18時半　西宮市民会館アミティホール　一般1700円
小中高生1000円

★第2回日本アマチュア・シャンソン・コンクール
26日(木)18時　神戸文化中ホール
1500円

★新日本フィルハーモニー交響楽団　指揮／井上道義
26日(木)19時　アルカイックホール
S3000円　A2500円
学生1500円

★パトリック・ガロワ演奏会
27日(金)19時　西宮市民会館アミティホール　一般2500円　学生2000円

映画

★市民映画劇場「愛と喝采の日々」
18日(水)19日(木)20日(金)18時半
神戸文化小ホール　500円

古典芸能

★第11回歌舞伎鑑賞教室
新版歌祭文「野崎村」一幕
出演／片岡仁左衛門　片岡我當　嵐徳三郎　片岡秀太郎他
5日(木)6日(金)10時半　神戸文化大ホール　一般1300円
学生800円

★桂枝雀独演会
25日(水)18時半　神戸文化中ホール　A2500円　B2300円

舞踊

★インド古典舞踊の精華「オリッシィ」
3日(火)18時半　ピッコロシアター
一般2500円　大高2000円

★マイヤ・プリセッカヤとソビエトバレエのスターたち
18日(水)18時半　神戸文化大ホール　S10000円　A9000円　B8000円　C7000円　D5000円　E4000円

演劇

★俳優座公演「セツアンの善人」
19日(木)20日(金)21日(土)18時15分　22日(日)13時半　神戸文化中ホール　3000円

美術

★サンパル市民ギャラリー
神戸書道専門塾みなせ教室門下展　6／6～6／18
新協三都会展　6／20～6／25
旅の思い出写真展　6／27～7／2

★サンパル mini ギャラリー
第7回著心会書作展　5／30～6／4
佐野政男個展　6／27～7／2

★大丸美術画廊
五山窯林淡幽茶陶器　6／5～6／10
吉川康雄洋画展　6／12～6／17
藤原恭助作陶展　6／19～6／24
片野かほり絞り展　6／26～6／28

★そごう美術画廊
萩焼吉賀将夫作陶展　6／6～6／11
極彩色木彫の美　平野富山個展　6／13～6／18
14代柿右衛門展　6／20～6／25
清水かづ油彩展　6／27～7／2

★そごうプチギャラリー
小松崎邦雄版画展　6／6～6／11
小磯良平版画展　6／13～6／18
梅原龍三郎版画展　6／20～6／25

★ギャラリーオブジェ
坂本善三リトグラフ展　6／7～6／14

★香雪美術館
永楽善五郎展　5／11～7／13

★兵庫県立近代美術館
ホックニーのカメラワーク　6／7～6／29
関西のグラフィック・デザイン　6／19～8／6

●CINEMA試写室

命を燃やした『蜘蛛女のキス』

淀川長治
〈映画評論家〉

ウィリアム・ハートはこれでこの春のアカデミー賞の主演男優賞をとった。

このときノミネートされていた主演男優は、ハリソン・フォード、ジャック・ニコルソン、ジェームズ・ガーナー、ジョン・ボイトと彼だった。

「暴走機関車」のジョン・ボイトを見たときボイトがこれでアカデミー主演男優を取らなかったことが、なんとも口惜しかった。

しかし「蜘蛛女のキス」を見たいま……これはウィリアム・ハートだとなっとくせざるをえなかった。

「蜘蛛女のキス」は愛の映画であった。それもホモの愛。この映画はブラジル映画。ブラジル映画はすごい山賊のブラジル伝説男の超クラシック趣味の美術（モノクロ）映画を作り、それは印象深いが現代映画はあまり印象にのこってはいない。

「蜘蛛女のキス」は東京映画祭に出たが私は見逃した。それで今度はじめて見てウィリアム・ハートのオスカーをなっとくした。

しかし本当はこれは原作者マヌエル・プイグのホモ描写が〝愛〟を貫いた名作ゆえであろう。けれどもどう見ても骨太のおおがらのウィリアム・ハートがゲイのデリカシィを出しきったことは、これまた実に名演と申したい。

ストーリーは、政治犯とゲイをひとつの囚人部屋に入れた。ゲイはワイセツ罪でつかまった。政府はこれを利用した。男ふたりの監房のそのひとりがゲイとなると政治犯（ラウル・ジュリア）はいつかゲイと肉体関係を結んで政治犯仲間のアジトをゲイにもらすにちがいないという罠だ。ゲイはその罠の道具。すでに哀れはここにある。

ゲイは自分が罠のことも実は承知なのである。それが相手の命とりのことも知るわけだ。蛇と鼠がひとつの箱の中なのだ。

ところが政治犯は妙なこの男に用心もし心もゆるさない。もちろん愛などは爪のアカほども感じてはいない。

しかしこのゲイのもって生れた、子供のような、やさしさが、ついにこの政治犯をして、心の鍵をゲイにあたえてしまうところが、こわく、美しく、この原作が、ただものでないことを知るのであった。

ゲイが自分が罠の役目のことをも承知で、相手をおとし入れる。ところが相手をおとし入れることを承知しながら、それを忘れてゆくほどにこれが愛に盛りあがる。

このゲイは、愛のほかは、まるで気のつかぬ、気を使わぬ、その単純さがまた哀れでもあり愚かでもありながら、美しく見えて身がひきしまってくるのであった。

ある朝、政治犯が〝ごめん〟という。ゲイは〝いいのよ、立ってるんでしょう〟と笑う。パンツ一枚の政治犯が、ろくに栄養もとっていないのに朝の寝起きに立ったからである。ベッドは、ななめの隣り同士である。

ゲイは政治犯に命がけの秘密を打ち明けられた

この〝ごめんよ〟ということでこの政治犯が一度も自分のものを相手に見せてはいないし、性交など、なかったこと、ゆるさなかったこともわかることになる。ところが、ある日、政治犯はすごい下痢をし大便で下半身をよごしてしまう。それをゲイが親切に拭きとるときに思わず相手のものがマル見えとなった。ゲイは、アラというちょっと笑顔をして見せた。

この映画は、ゲイに母が訪ねてきて、いろいろと差し入れをすると見せかけて、ゲイを何度も呼び出し、政治犯のことをいちいち聞くのだが、ゲイはかくすこともなく何でもしゃべる。しかし政治犯が実は何もゲイに打ち明けぬからゲイはしゃべることがない。このゲイをもっと利用しようとする。

ところで囚人部屋の人間ふたりだ、やがて、二人は、やっぱり、ついに接吻してしまった。その接吻は相手がはじめてゲイに心をゆるした瞬間だった。ゲイはその接吻に、相手から命がけの秘密を打ち明けられた。ゲイは聞いてはならぬことを聞いたのだ。しかし、その秘密にゲイは命をかけた。

この二人の男のラスト・シーンは残酷であきれるばかりに哀れで、しかも、あきれるばかりに美しかった。

とても女にはなりきれぬ大柄の骨太の男が持って生れたホモの悲しさを、悲しむどころか幸せとさえ思える自然さで演じているウィリアム・ハートに俳優という芸術家を感じとった。実に、巧い。

このゲイはふたりきりの囚人部屋の中で、映画に見た〝蜘蛛女〟の楽しさ美しさ、その蜘蛛女のあでやかさを、あたかも映画の場面を見るかのようにいちいち政治犯に話すのだ。それは話すというよりも自分に語るのであった。そして自分を蜘蛛女に空想し、ショウで歌う蜘蛛女、男を誘い込む蜘蛛女にダブされて、このゲイはその蜘蛛女にあこがれきる。

監督のヘクトール・バベンコを私はこの映画で初めて知った。イギリス映画「ドレッサー」あの名作を思わせるタッチであった。この原作はこの原作者の手で舞台劇にもなったという。政治犯に扮したラウル・ジュリアはブロードウェイのヒット・ミュージカル「ナイン」の舞台の主役を演じていたし、映画では「ワン・フロム・ザ・ハート」(一九八二)このコッポラ作品にも出ていた。

男女の区別なく、愛を、きびしく、美しく、すごく描いた名作であった。愛というよりも恋といっていいか。

SPECIAL MESSAGE
神戸百店会だより

COLLECTION

★'86ミキモトコレクション
春をテーマに

国際会館1Fのミキモトで'86春のコレクションが、4月7日から19日まで催された。春のイメージをモチーフにしたジュエリーを中心に展開。ブーケやパラソル、かわいいウサギのブローチやペンダント。また人気のあった金ボール仕掛けのネックレスは、1本のネックレスが3つに分かれ装いの幅が広がるニュータイプ。さらにジュエリーポーチも新しく機能性に富んだデザインで登場した。

■中央区御幸通8—1—6国際会館1F ☎221—0062

新製品とスタッフのみなさん

DESERT

★洋菓子のヒロタから
フレッシュデビュー

洋菓子のヒロタから、今夏シーズンに向けて〝デザート・フランセーズ〟が新発売された。水ようかんとゼリーの詰めあわせで、甘さがおさえてあるので、ダイエット中の人にも喜ばれそう。オレンジゼリー、コーヒーゼリー、ヨーグルトゼリーの三種類と抹茶などの入った水ようかんのとり合わせは、お中元にも最適で、シュークリームの後に続く人気商品となりそう。

■中央区元町通3—11 ☎331—2340

お中元に喜ばれそう

REFRESH

★ゴンチャロフさんプラザ
店がライトな装いを

4月26日、さんプラザBFにあるゴンチャロフさんプラザ店がリフレッシュオープンした。

開店して6年半になるので現代風にいかにも洋菓子屋がやっているお店にしたいとの事から、店内も白とゴールドと木を使用し明るさの中にも落ち着いた雰囲気が漂っており、白壁には、シルクスクリーンが彩色を放っている。

メニューの方はよりケーキ類を充実させ、ケーキセットでは全体の値段から20円引になる。フレーズケーキが350円、レアチーズケーキ、イチゴプリンセスが300円のほか、フレッシュジュース（500円）も好評。ヨーグルト類も味はもちろん見た目にも楽しく工夫されている。

■10：30～21：00第3水曜日休 ☎391—8567

明るいイメージが女性に人気

JAPANESE FOODS

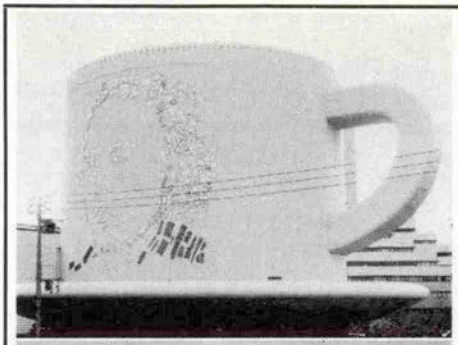
★竹葉亭で本格的な
日本料理の数々を

神戸竹葉亭では、『3000円で楽しむ日本料理』（予約制）のコースが静かなブーム。社用の男性客が多い中、竹葉亭を奥様方によく知って頂くために企画されたもので約10年経った今も変わらぬ人気を保っている。

内容としては、午後1時半から4時半の時間に限り飲物は別料金として3、000円で九品の日本料理を楽しんでいただこうというもの。蕗とこんにゃく胡麻和え、お造り盛合せ、若竹煮、米茄子田楽などが九品の一例で、毎月この献立は変わる。クラス会や謝恩会等にも大変喜ばれているとの事で、予約の断りも出るそうだ。2名～40名まで。年中無休。

■竹葉亭／神戸三ノ宮阪急三劇東隣 ☎331—1120・1140

民芸調のお座敷も好評



BIG CUP

ポーアイＵＣＣのカップに坂本竜馬の顔が登場

ポートアイランドのＵＣＣ上島珈琲の世界一のコーヒーカップに５月10日坂本竜馬の顔が取りつけられた。

製作したのは、垂水区の造形作家、吉田稔郎さん達で、ソフトボール用のネットにテントの布切れをモザイク状に張り付けたもの。大コーヒーカップの外壁にネットをつり上げられて、竜馬の顔が出来あがり。

カップの南面には、金と銀の“サンシャイン竜馬”が、北面にはこげ茶の“ブラウン竜馬”が登場した。

なお、このコーヒーカップパビリオンは、来春から日本初のコーヒー博物館として再びお目見えするということだ。

PEOPLE〈45〉

●よい時間を過ごして頂ける雰囲気を

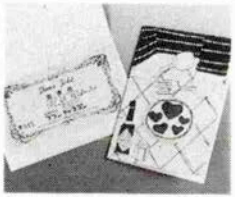
高谷　晶子さん〈株式会社ミキモト神戸店店長〉

大阪店で３年経験を積み神戸店に来て６年になる。今春、店長に就任したばかり。「ミキモトは古い伝統のある会社。いいものをゆっくりと選んで頂ける雰囲気づくりを心掛けています。」と抱負を語る。「真珠は、生物の持っている暖かさがある優しい宝石ですね。」と真珠への思い入れと愛情が感じられる。日本料理が大好物の明るくさわやかな女性。

TOPICS

●**神戸元町丸善**では、「ＶＣ丸善アカデミックカード」の会員を募集している。従来のクレジットカードの便利さに、丸善独自の特典を加え、アカデミックライフからスポーツライフまで、幅広く利用できるオールマイティカード。特典として丸善グループ各店で、洋書・外国雑誌・文具・洋品が５％割引となるほか、ホテルリッチの客室基本料金が10％割引になるなどオリジナルな特典が多い。また丸善の情報誌〝ＭＡＣＬＵＢ〟が届けられる。詳しくは☎391－6001までどうぞ。

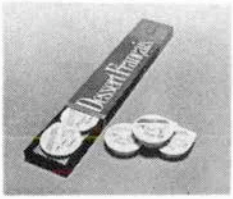
●**オリエンタルホテル**では、「デイタイムサービス」として、小会議や商談、書斎、オフィス、仮眠室など、客室が利用できる。シングル３時間まで3,000円、５時間まで5,000円となっており、事務用品も無料で貸りる事もできる。喫茶店やレストランとまたちがった雰囲気でアイデアも豊富に浮かぶかも。また地下一階の**セラーバー“ラ・ランド”**でオランダビールの傑作ハイネケンの生樽ビールフェアが催されている。期間は９月15日まで、ハイネケン生ジョッキ435mℓと特製オードブルで¥1,000となっている。ビール好きの方には見逃せないフェアで、ポテトピザやチップミートバジル風味などのオードブルもオリエンタルならでは。予約は、☎331－8111まで。



●ブラン・ドゥ・ブランより

ディナーチケットを

京町筋のレストラン〝ブランドゥ・ブラン〟よりディナーチケットを今回は、ペアで２組の方にプレゼント。店内は落ち着いたゴージャスな雰囲気で、ゆっくりとお食事を味わえます。ご夫婦や恋人どうしでロマンチックな気分を演出してみては？



●ヒロタより

フルーツゼリーを

シュークリームで有名なヒロタより新発売の〝デザート・フランセーズ〟を13名様にプレゼントします。オレンジゼリー、コーヒーゼリーなど甘さをおさえた３種類のゼリーのつめ合わせです。商品の受け取りは元町３丁目のヒロタまで。

PRESENT CORNER

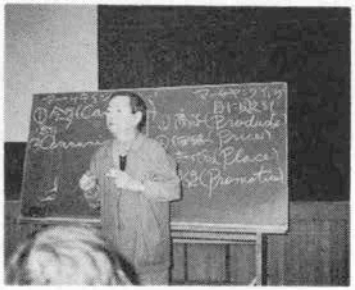
♥応募方法●葉書に住所、氏名、電話番号、希望する商品名を明記の上、神戸市中央区東町113－1大神ビル９Ｆ「月刊神戸っ子」神戸百店会プレゼント係までご応募下さい。６月20日消印まで有効です。当選者には当誌っ子から当選葉書を発送、葉書を持ってお店まで、プレゼントを受け取りにお出かけ下さい。

コウベ ファッション ソサエティ
★神戸ファッション市民大学OBによるグループ
＜神戸のファッション都市化をめざす＞
K.F.S. news 115
事務局／神戸市中央区東町113－1大神ビル9F
月刊神戸っ子内TEL（078）331－2246

KFSファッション公開講座

—'86秋冬物ヨーロッパ・アメリカファッション最新情報—

カラーは"黄" ポイント概念は マーケッティング



講師／立亀　長三

＜ナクトアトリエ代表＞

KFS恒例の立亀長三氏によるファッション公開講座＜'86秋冬物ヨーロッパ・アメリカ最新情報＞が、4月23日、国際会館5F小ホールで開かれた。

'86秋冬のファッション傾向は…、また、アパレル業界の動向は…。

「前回、'86ファッションはパンツスタイルだ、ということを言いましたが、'86秋冬には、はやくもパンツの流行が下火になります。秋冬は、スカート50%、パンツ50%。50%のパンツの種類だけでも、ホットパンツ、タップパンツ、バミューダ、キュロットと数種あります。これでは勝負することはできません。今年は、ボトムは両極に分かれるでしょうから、トップで、アパレルメーカー、小売の方ともに勝負すべきですね。

それから、今日の大切な情報の一つなんですが、これからのアパレルに欠かせないものは、目に見えないものを意味する「マーケティング」であるということです。今まで、業界が進めてきたマーチャンダイジング、いわゆる商品（Products）、価格（Price）、売り場（Place）、販促（Promotion）といった目に見える方法には行き詰まりが出てきています。物があふれ、バーゲン価格という、消費者を見下だしたような商法をとっているようでは、消費者は離れる一方になります。これからのアパレル業界に必要なことは、マーケッティングです。具体的には、会社（Company）、Communication、顧客（Customers）、競争（Competition）の4つになります。これは、信用される会社づくり、消費者の立場になって親身に考える売り場づくり、会社の経営理念を主張し、はっきりした商品展開で顧客管理を確実にするといったことを意味します。とにかく、目に見えない「マーケティング」で勝負が決まる時代になりました。

ヨーロッパ・アメリカのファッション傾向は、カラーは"黄"、スタイルは女のエレガンス、素材ではサテンといったところです。カラーは、クラシカル調で、自然色が目につきます。野に咲く花の色、黄・オレンジ、グリーン、ブルー。カラーコーディネーションでは、ツゥ・バイ・ワン（隣の同系色を合わせる方法）。スカート丈は、全体的に短くなり、女らしさを感じさせるひざ下5～10cmが一番多いようです。ヨーロッパ・アメリカでは、ウインドディスプレイはもちろん、ショップ自らが、個性的な工夫を凝らしています。経営者側は主張を持って、それを消費者に伝えねばなりません。個性的な店づくり、しいては街づくりによって話題を呼べば、またそこに人が集まるのです。世界中で、一歩先にスタートしています」

神戸ファッション研究所 設立基金募集中！

●6月のマンスリーサロン

日　時　6月20日（金）

場　所　市立勤労会館

6月のマンスリーサロンでは、会員によるパネルディスカッションを開催します。多数ご参加下さい。

びっと・いん

★北野町の麻布キャンティ フレッシュに！

北野町のおしゃれな異人館倶楽部の地下にあるイタリア料理の「麻布キャンティ」（菊地由紘社長）が、このほど内装を金丸正博さんのデザインで明るくセンシィブルに改装してお目見えした。

今までの東京感覚から、神戸的なシンプルで実質的に楽しめて、アットホームな雰囲気を大切にしているスパゲティのうに和えやバジリコ、ラビオリなどこの三種類はおすすめ。

また、ご自慢は、あわびの料理で、魚貝類の味が満喫できるのが何より嬉しい。

新しいバーコーナーも入った左手にあって、北野界隈の会話がはずむ。気楽なきもちでお出かけを。

■中央区北野町4—1—12異人館倶楽部 ☎222—5380 休第3月曜

オープン記念パーティー

インドへ旅した気分で

★異国情緒あふれる味

インド料理は微妙な味の組合わせがポイント。インド国内の隅々から集められた香りの良い、ぴりりとした強い香料の調合によって独特の風味と芳香が生みだされる。フラワーロードにあるゲイロードは、インド北部地方のタンドーリ料理がお薦めメニュー。四種類のバーベキュー料理が楽しめるスペシャルタンドーリミックスや、ゲイロードスペシャルなどのコース料理でインド風味を堪能。

□ゲイロード11時半～14時半 17時～21時半 年中無休 ☎251—4359 ポートアイランド店（ダイエービル1F）11時～21時半 ☎302—5728

★碁風も新時代へ 高級囲碁倶楽部誕生

阪急三宮の山側、ニューリッチビルの10階にある、会員制囲碁サロン「サロン・ド・神戸」。今までの囲碁倶楽部のイメージを一掃し、落ち着いた優雅な雰囲気。

サロン内にはカウンター・バーがあり、喫茶・飲食・軽食が楽しめる。碁だけでなく、サロンとして最適。

「対話の中から生まれてくる人間関係を大切にしたい」と総支配人の木林さん。

現在会員募集中。詳しくはサロン・ド・神戸まで。

■中央区北長狭通1—2—13 ニューリッチビル10F ☎078—331—1547 休日曜 正午～11PM（祝日は正午～9PM）

木林支配人（サロン内で）

●神戸うまいもんとドリンキング

炭焼きすてーき 六段

中央区元町通3丁目8—4 ☎331—2108 11：45AM～9PM 第1・3水曜休

琴の調べが流れる民芸調の粋な造りの店。お座敷やカウンターで寛ぎながら味わう炭焼ステーキの味はまた格別。

ソースは3種類あり、しょう油味、みそにんにく、みそに野菜を入れて煮こんだソースと、どれも六段特製。

車海老の塩焼などお肉の苦手な方のためのメニューもあり、又、2階のお座敷ではしゃぶしゃぶも楽しめる。

■すてーきらんち¥1700、六段らんち¥2500（～14：00）、さーろいんすてーきこーす¥7000で、ふぁみりーすてーきこーす¥4500～、ふぃれすてーき¥5600～

ロサンジェルスに支店も

ポケット ジャーナル

★神戸を描いて半世紀 小松益喜展開かれる

古き良き神戸のまちをひたすら描き続けている小松益喜画伯の絵画展が、6月12日(木)から17日(火)までさんちかホールとギャラリーさんちかで開かれる。「北野・居留地・異人館」というタイトルで、油絵50点、デッサン35点を展示する予定。主催は、朝日新聞社・㈶神戸市民文化振興財団・さんちか。

入場料は一般300円（前売250円）大高中生200円(150円)小学生以下無料。作品の中から何点かを選んで絵はがきとして販売もする。

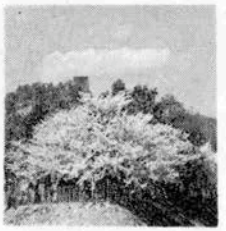
美しい館、重厚な商館、よごれた倉庫、さびしげな門…神戸のまちに息づくエキゾチックな相貌を存分に堪能できるはず。

小松益喜画伯

★選んでください

〝こうべ花の名所50選〟

神戸市は、このほど〝好きですこうべ 好きです花が…〟をキャッチフレーズに、市民から巾広く市内の花の名所を募集している。



花の名所を選んで下さい

〈募集要項〉

○**対象**／神戸市内で花の名所にふさわしい場所（草花や紅葉も含む）。

○**応募方法**／葉書に住所、氏名、年齢、電話番号、推薦する場所（葉書一枚につき一カ所）、花の種類を明記の上、〒650神戸市中央区加納町6丁目5番1号神戸市土木局公園緑地部計画課「こうべ花の名所50選」係（☎331・8181）まで郵送。

○**締切**／6月30日（当日消印有効）

○**発表**／主催者選考の上、10月頃。

○**その他**／応募者の中から抽選で冊子「花時計」（50名）学習用植物図鑑（50名）花のカンヅメ（100名）園芸セット（50名）をプレゼント。

○**主催**／神戸市・（財）神戸市公園緑化協会

なお選定後には、ガイドブックの作成、銘板の設置などが予定されている。

★'86第15回映画大学が神戸で開催される

全国映連（映画鑑賞団体全国連絡会議）の主催による恒例の映画大学が今年は神戸市北区のみのたにグリーン・スポーツホテルに於いて8月8日(金)から10日(日)までの2泊3日。

今年は講師陣に、映画評論家の淀川長治、映画監督の山田洋次、映画音楽の佐藤勝など多彩。

参加費は38000円、定員100名。参加希望者は申込書と申込金1万円を添えて現地事務局まで。

■お問合わせ　神戸映画サークル協議会　〒650神戸市中央区海岸通2の4の17　☎078(331)8538

山田洋次、淀川長治

★三木露風賞 童謡コンクール作品募集

童謡赤とんぼの作詞者として有名な詩人三木露風の生誕地龍野市では、現在オリジナル作詞・作曲による童謡を広く一般より募集している。

昨年の発表風景

誕生日ありがとう運動

田中澄江、名倉啓太郎先生を迎えて本年の福祉講座

本年の「市民の福祉講座」決定本年の第十四回市民の福祉講座の大綱が次のように決定しましたテーマ「共に生きる」

日時　昭和61・8・24（日）午前9・30～午後4時

場所　兵庫県労働センター大ホール

定員　三百名（申込み先着順）

参加料　一般千五百円　中高生五百円

日程

一〇・〇〇　開会あいさつ

一〇・一〇～一二・〇〇　講演「自律性の発達と生き生きした生活」―障害児者の自立とは―

大阪樟蔭女子大教授　名倉　啓太郎先生

一・〇〇～一・五〇　映画本運動啓発映画第二作（障害者の就労問題）「うん、頑張っとる」

二・〇〇～三・五〇　講演「もっと光を」

劇作家　田中　澄江先生

幼児・障害児の保育

すぎの子会申込み先着順三十名まで

手話　手話グループ「ころ」

申込　手元のできとうな用紙に①名前②住所③電話④職業⑤保育の有無を書き⑥参加料（60円切手代用可）を添えて左記運動本部へみなさまのご参加をお待ちしています。

なお運動本部の電話が専用留守番電話になりました。番号は、〇七八―二三一―二一一四番です。

一昨年秋、童謡の里宣言をした龍野市が次代をになう子供達に豊かな情操を育むためにと、第2回を迎えた〝三木露風賞新しい童謡コンクール〟。入選作品には賞状楯および賞金が贈られる。

応募のしめきりは7月1日(火)、発表は10月12日(日)。

■問い合わせ ☎07916 (3) 4141まで

アンテノール北野店

★北野パールストリートでミニ・コンサートを開催

北野パールストリートと北野坂の角にある「アンテノール北野店」が、〝サタデー・ミニコンサート〟を開く。これは、5月から毎月の最終土曜日の午後2時から4時まで、同店のテラスをオープンにして演奏をするもの。演奏者は片岡学とエスクァイヤーズの5人。セミクラシックを中心に道行く人たちに音楽を楽しんでもらおうとの趣向だ。

同社の津曲孝社長はこの企画について「午後の語らいのときにはいいお菓子、いいお茶にいい音楽が欲しいものです。土曜の午後、異人館巡りに来られた方にいい音楽を提供し、文化都市神戸にふさわしい催しとして行きたい」と、意欲を見せている。

★世界大会へ向けて華やかに花展開催

〝花と友に(Friendship through Flowers)〟をテーマに国際色豊かな第13回いけばなインターナショナル神戸支部花展が4月17日から3日間開かれた。

華やかな会場風景

オープニングセレモニーはダナ・マードフェルト支部長の挨拶に続いて坂井時忠知事と松平典子第5回いけばな世界大会委員長が来賓を代表して祝辞をのべた。

花展委員のモニカ・ケリー、前田美智子の両氏に花束が贈られ、西村雲華佳生流家元が乾杯の音頭をとった。名誉会員の坂井和子知事夫人がテープカットし、一同が入場した。会場には材料から花器まで趣向を凝らした82点が飾られ、和服姿の外国人婦人も多く神戸らしい花展となった。

★ボウリングオープントーナメント、激突!

『第6回六甲クイーンズオープントーナメント』が4月21日に『第10回神戸プロアマボウリングフェスティバル』が4月20日、グランド六甲ボウリングセンターで開催された。

木村俊代プロ

『六甲クイーンズ』では参加プロ68名とアマ16名参加のうち予選8ゲームの上位36名が準決勝4ゲームを経て、決勝には8名が残り、激戦となった。結局、木村俊代プロが、予選一位通過の高林英子プロらを一気に逆転し初優勝、賞金100万円を獲得した。また『神戸プロアマ』では、中山律子プロが金田恵子プロをやぶり、勝利の栄冠を手にした。

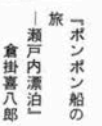
★ブライダルのことなら、すべてお任せ!

ブライダル商法の新感覚派「KOBE BRIDAL PRODUCE」が、コウベサンプラザ2Fに登場している。K・B・Pでは、結婚の決まった二人のために、神戸市内及び阪神地区の式場、披露宴会場の雰囲気、料理、設備などの最新情報を、ビデオにより紹介し、よりスピーディ

図書ガイド

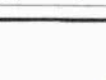
「女の華やぎ―田辺聖子の世界」
文芸春秋編

男女の愛に限りない温かさと優しさを寄せ、夢とロマンを紡ぐ作家田辺聖子の人と文学の魅力を、筒井康隆、陳舜臣、小松左京、佐藤愛子、司馬遼太郎、藤本義一、野坂昭如、杉本苑子、中山あい子、藤本統紀子、足立巻一、黒岩重吾、津村節子、永六輔ら総勢35名のメンバーが解剖する豪華エッセイ集。
〈文芸春秋 九八〇円〉



「ポンポン船の旅―瀬戸内漂泊」
倉掛喜八郎

イラストレーターである著者が島から島へと渡り歩いた気ままなスケッチ旅行を一冊の本にまとめた。青い海と白い渚、緑の野山と青い空、美しい自然を持った瀬戸内の島々、そして心豊かで、人情細やかな島民との触れあい。そんな瀬戸内の島の風物をイラストと共に綴る。著者は神戸市在住。
〈大阪書籍 九八〇円〉



「新人国記10」
朝日新聞社編

朝日新聞で連載され、好評をはくしていた「新人国記」を本にまとめた。人間国宝から甲子園球児まで、各都道府県出身者やその土地で活躍する人物をとりあげ、生き方、人生観を問う。シリーズ本として全10巻。今回は山口県、兵庫県、沖縄県、東京都。郷土の有名人を知る。
〈朝日新聞社発行 一九〇〇円〉

に、お気に入りの式場・披露宴会場をプロデュースしてくれる。アドバイザーによる出張サービス、ビデオレンタル、他一風変わったブライダルプロデュースなどOK。

□コウベブライダルプロデュース ☎(078)332−1850

さんプラザ2Fのカウンター

★L・A発のネイルファッション、北野に登場

神戸、北野に〝ネイルズユニークオブジャパン〟が関西初のネイルケア専門店としてオープン。代表の水野夫妻はカリフォルニアのマニキュアライセンスを持ち、本場仕込みのテクニックで女性の指先を美しく変えてくれる。特にスカルプチュアネイルは、家事に充分耐えるという丈夫さと美しさを兼ね備えた新時代感覚のネイルファッション。

■中央区山本通1−7−2 ☎221−1610

指先に笑顔を

★ママさようなら！

〝クラブ小万〟〝異人坂花苑〟などのオーナー兼ママの岩本起代子さんが、四月二十日心不全のため神戸医大付属病院で死去。博多出身のキップのいい名物ママとして三十有余年、神戸の社交場の〝華〟として活躍。

二十二日昼からの葬儀は中央区の高法寺で、どしゃぶりの雨の中を〝ママさようなら〟とかけつけた友人後輩三〇〇名が別れを惜しんだ。

㈱クラブ小万は実娘の中西貴子さんがママの後を継ぎ、岩本㈱異人坂花苑は、弟の岩本文夫さん夫妻が。力を合わせて仕事を続けることこそママへの供養と、告別式当夜から通常営業で頑張っている。

故岩本起代子さん

花時計 夏夫秋

世界の「神戸まつり」に

天気は底抜けの五月晴れ、暑いほどの祭り日和りに恵まれて、第16回目の「神戸まつり」が開かれて、参加者は120万人と大変な賑わいを見せた。もう神戸のイベントというよりも、全国的にも知られるイベントに成長した。そして、交錯と雑然のなかに、自然の流れができて統制もきいているという、祭りらしい祭りに成長してきた。

都市型の祭りイベントの中で最も先行し、英名を馳せたというべきだろう。この祭りのポリシーは「創るよろこび、参加する楽しさあなたの神戸まつり」ということだ。

この意味では市民の祭りを強調している。そして、今年は「花と海と太陽の祭典」がテーマ。それに合せて工夫が凝らされた。

祭りが終った後も即時に清掃が行われるという鮮やかさも板についた。「遊びと創造」の母が祭りだといえる、だから工夫や柔軟さをいつも初心にもどして考えていかなければならない。

整然とマンネリは表裏している。だからいつも新しい知恵や新しい血を取り入れる組み立てをしていかねば活力が枯れる。

世界に誇る「神戸まつり」にするために。

〈Y〉

KOBE POST

★**陳舜臣**さんの全集27巻が、このほど講談社より出版されました。

推理作家として神戸を舞台にした作品も多く、中国の古代から現代まで幅広い内容で、風格充分。

★**田辺聖子**さんの神戸を舞台にした「**ダンスと空想**」の文庫本が神戸まつりを前に、文春文庫（600円）から刊行されました。神戸の女性たちの活躍がいきいきと…。また、このほど神戸新聞平和賞を受賞された。

★関西舞台文化懇話会へ**松井一郎**会長〒550大阪市西区新町1ノ14ノ15大阪厚生年金会館ホール内☎06(532)4664Vでは、関西舞台文化の向上と明日の若い美術家の新人発掘を目的とした〝オペラ舞台美術コンペ〟を企画。

一、応募資格　年令、男女問わず

二、(一)マスカーニ　カヴァレリア・ルスチカーナ1幕／(二)プッチーニ蝶々夫人2幕／(三)ロッシーニ／セヴィラの理髪師2幕／(四)ヴェルディ椿姫3幕／(五)ビゼー・カルメン4幕

左記の内一演目を取りあげてデザインする。申込6月10日まで作品は6月30日〆デザイン公募担当委員宛☎06(532)4664。入選者の中から関西歌劇団、二期会公演の舞台装置を演出プランによって委嘱推薦される。

★俳人の**伊丹三樹彦・公子**夫妻が「**隣人有彩**」「**パースの秋**」の写俳集と句集をアベック出版。五月九日新阪急ホテルで出版記念会が

★松蔭女子学院大学教授、神戸芸術文化会議議長の**服部正**さんが、大阪書籍より、朝日カルチャーブックス61「女たちの世紀」へ近代日本のヒロイン群像Vと題した女性群像史を上梓。（一、二〇〇円二九〇頁、四六判）

★神戸市の**田淵栄次**市民局長は、四月一日より総務局長に、後任には**石井博**氏が市民局長に就任されました。

★本誌でおなじみの漫画家で、児童文学作家として活躍する**岡田淳**さん（39才）が、「二分間の冒険」（偕成社）で、宇津宮子供賞を受賞。

■こころの歳時記

人との出会い大切に

小池義人<須磨寺管長>
大谷晃世<大谷徳風社社長>

今月は、須磨寺のお大師詣りの二十一日に、小池義人管長をお訪ねしてインタビューさせて頂いた**大谷**　須磨寺さんの三重の塔の落慶は、五十九年の十月でしたね。

小池　足かけ三年目で、無事に落慶させて頂いたので、ようし、これからは遊ぶねんというとるけれど遊ばれへんですな（笑）無芸無趣味でね。やっとロシヤ語を始めて一年。先日は姉妹都市リガの使節団もここへ観光にやって来て歓迎の辞を述べましたが…。

大谷　管長は三重の塔づくり迄に境内に色々と、びっくりするようなアイデアで記念碑を創られて。

小池　よその寺にない事をしたいし、創りたい。それにお寺へしかつめらしい顔をして来るものでない。楽しみを持って来て欲しいということで。昭和四十年に〝源平の庭〟を最初に創りました。海の中の馬上の無冠大夫平敦盛と浜辺で呼びとめる熊谷直実の馬上姿を教材パノラマとして創りました。

大谷社長

大谷　お経の書かれている六角塔は回すと一回唱えた事になる〝マニコロ〟も面白いですね。

小池　お釈迦様の人格や、言葉は完全無欠で角もない継ぎ目もない〝円〟のようなものでして法輪は、お釈迦様自体であり、言葉であり、お説教で廻すことがお好きなんです。五年前チベットに行った時、文盲の人が多い所で〝マニクール〟というお経の書いてあるものを回すと読んだことになる、それを回しているのを持って帰って来たのがキッカケで〝マニコロ〟は、私の考案で名前も私がつけました。

大谷　西国八十八カ所の砂踏みや金浦敦（キンポトン）童子、青葉の笛のミュージックキーボード、それからシベリアの慰霊碑は、一弦琴で〝異国の丘〟の唄が鳴る（笑）とても親しみが持てますね。

小池　五十九年に創った千手観音さんは、観音様とお手継ぎが出来るように〝仏手版〟の手型をとるとチンチンと反応して鳴る。ところが故障する時があって鳴りよらん（笑）

小石人形舎、写経輪堂、七福神のマニコロ、三重の塔の中も須磨寺だけにしかないことを考えてね。

大谷　結構それを大人が楽しんで

小池　人並みの事をしたくないのは、オッチョコチョイの神戸っ子だからやと思いますね（笑）

大谷　最後に、お葬儀でお気づきの点は？

小池　近頃はマイクを使う事が多いけれど、ボリュウムが大きすぎると仲間のお経が聞きにくくなるので、気をつけてほしいですね。

須磨寺のテレフォン法話
☎078－732－5800

全葬連認定「葬祭専門士」資格取得者
株式会社 大谷徳風社
代表取締役 大谷晃世

全国葬祭事業協同組合
神戸葬祭事業協同組合理事
神戸市規格葬儀取扱指定店理事
本社／神戸市長田区松野通1－11－12
☎078－621－0089
鈴蘭台支店／☎078－592－5485

三平の
やぶにらみ見聞録
〈その8〉

孤高と反俗の本造り
——書肆の真珠「奢灞都館」

小関三平（神戸女学院大学教授）
カメラ／池田年夫

「奢灞都」創刊号

このところ、「関西復権」の声は、巷にかまびすしい。だが、「上方文化」の再興を呼びかける関西ブン蚊人が、はたしてどれだけ真面目に、文化なり教養なりを考えているかは、疑わしい。

軽薄な「イベントづくり」は大流行だが、関西の「エリート」も「一般市民」も、まともな出版社一つさえ、育てようとしないのである。

京都・大阪には、まだしも、いくつか、地味な出版社がある。だが「神戸の出版社は？」と問われて即答できる地元市民は、はたして何人いるだろうか。

だが実は、地元の人たちが知らないだけで、神戸にも、たった一社ある。その名を「奢灞都館」と言う。「反俗」の姿勢をつらぬいて、刊行書と読者の量よりは「質」にのみこだわる、文芸・美術書一筋の出版社として、知る人ぞ知る、貴重な存在である。

マニアのあいだでは、近頃とみに、その名は高まり、遠くからわざわざ訪ねてくる読者も、ふえている。

創業以来十五年、年に三点ほどを細々と刊行してきたが、昨年などは、垂水に隠棲する北原白秋の高弟・水木彌三郎さんの詩集二冊をはじめ、七点をも刊行した。

「真珠」を手がける神戸の会社は、少なくないが、奢灞都館もまた、本づくりの世界では、珍種の宝石にも似た輝きを、放っているのである。

ところが、その読者のざっと七割は東京に住み、神戸の固定ファンは、たった二〇人ほどにすぎない。「ファッション都市・コーベ」の「文化度」は、その程度のものでしかないのだろうか？

「さばとやかた」という奇妙な社名は、「悪魔の饗宴（サバト）」に由来する。というのも、この出版社が、そもそも、シュルレアリスム・エロティスム・オカルティスムの三位一体を、敢えて志し、頑ななまでにその初心を、守りつづけるからである。

サバトを主宰する魔女は、社員を一人も持たない女社

俗世の風などどこを吹く。颯爽と我が世界を歩む生田耕作氏

サバトの魔女?!廣政かほるさん、この人の手にかかれば本が生きはじめる

長・廣政かほるさんだが、彼女は、自称「神戸女学院の落ちこぼれ」たることを、誇りとする。

だが、この魔女を育てた大魔神が、編集顧問として控えている。誰あろう、その名を聞けば凡百のフランス文学者が縮みあがる、碩学の書 狂(ビブリオマニア)・生田耕作氏である。生田氏は、バタイユ、マンディアルグその他の名訳で知られるが、その孤高・狷介のダンディスム・異端精神においても、夙(つと)に令名高き、言わば、「京都大学のはみだし教授」であった。

要するに、サバトの館に棲むのは、たった二人の魔女・大魔神だけで、あとは、魔女の級友（三輪信子さん）が、ときどき手伝いに来るだけである。新聞その他への「広告」は一切しないから、サバト教会に登録された秘教信者は、全国でせいぜい千人どまりらしい。

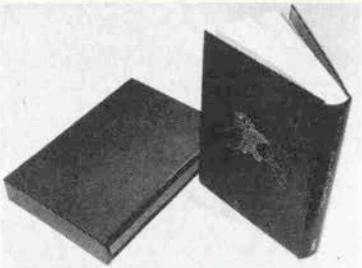
もっとも、数年前に一度だけ、奢灞都館は、新聞紙上を賑わした。『バイロス画集』が、「ワイセツ図書」の容疑で、ケイサツに摘発されたのである。

その顚末の詳細は、同社発行の『芸術なぜ悪い』に記されているが、魔女と大魔神の屈辱と憤激は、察するにあまりある。

フランツ・フォン・バイロスは、世紀末の特異な画家だが、かねて彼に注目していた生田氏が、『エロス幻想―わが密室を彩る画家達』の著者・山本芳樹氏の協力を得て、本邦初のバイロス画集を編んだのだった。

ところが、バカな買い手の一人が、なにを血迷ったのか、お節介にもケイサツに「通報」し、無知なケイサツが早とちりして、「押収」しにかかったのである。

そもそも「俗世間」と「権力」が大きらいな心情ラディカリスト・生田耕作氏が、これを黙視するわけがない。先生は激怒した。そして、ずっと前から愛想を尽かしていた京大を、これを機会に、さっさとやめてしまった。



本のすべて、あらゆるところに遊び、贅沢な装飾が

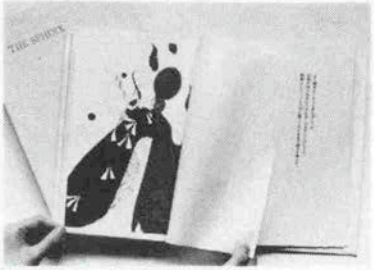
この事件で、同僚教授たちは、一部の例外を除いて、ますます冷くなり、かねてより学内の「俗物支配」に業を煮やしていた先生は、すっかり嫌気がさし、かつは、低俗きわまる「ワイセツ裁判」と断乎闘うべく、敢えて職を捨てたのである。

が、先生は、肩すかしを喰った。検察庁が起訴してくれなかったからである。ただし、おかげで、『バイロス画集』はⅠ・Ⅱ集とも、それぞれ四千部以上も売れてしまった。せっかく世間に背を向けてきた魔女・大魔神は、当惑し、苦笑したことだろう。

それはともかくとして、奢灞都館がこれまでに出してきた書物は、ざっと半数以上が「品切れ」である。つまり、確実に売れるのだが、初版部数が多くて千部どまりだからでもある。五〇部の超限定版だってある。

どの本も高価だが、なにしろ、製本と装幀が、ずいぶん凝っているのである。と言っても、ほかのデザイナーや画家に頼んだりはしない。もっぱら、生田氏の注文と示唆を受けて、廣政女史が、丹精こめて手づくりする。言わば、御両人の共同作品なのだが、生田氏は廣政さんのセンスと腕を高く買い、先頃、彼女の「帙」作品を、京の古書店『アスタルテ』の一隅に、展示させたほどなのである。美しい帙に包まれた稀覯書たちは、いずれも倖せな表情であった。

だが、凝った本づくりは、『須川製本所』という製本会社の、すぐれた技術にも、支えられている。生田氏によれば、ここの見識と技術は、東京でも得がたいほどのものだそうだが、これまた、神戸の隠れた至宝ということになろう。

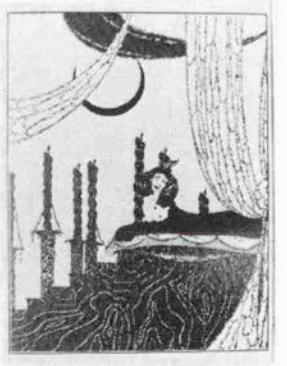


快心作『SPHINX』

この志高き小出版社を支えるシンパは、ほかにも多い。取り次ぎは、東京の『鈴木書店』というところが引き受けているし、地元では、ジュンク堂がとくに肩入れし、コーベ・ブックス、海文堂も、奢灞都館の本を置いている。大阪の紀伊国屋、旭屋にもある。

また、最近は、先に触れた京都の『アスタルテ』ほか、東京の『大塚書店』その他のように、特別のコーナーを奢灞都館のために設ける古書店が、現われ始めた。

読者のなかには、生田氏に心酔する熱狂的なヤング・ファンも、数多く居る。その一人は、同氏の処女エッセイ集の書名（『るさんちまん』）をそのまま借りて、かなりヘソの曲った雑誌を、出しているほどだ。その第二号は、「生田耕作書誌目録」と奢灞都館刊行リストを特集している。



本の装幀だけを見ても一つの世界がある

これまでに、白水社や新潮社その他の大手出版社からも数多くの名訳を、フランス文学愛好者に贈ってきた生田氏だが、今後は、他社の依頼を一切ことわり、奢灞都館の仕事に専念する、という。

個人誌『奢灞都』も、二号が出た。これは一種の再録アンソロジイだが、世間・文壇から無視あるいは忘却された名篇の発掘・紹介が、氏の新たな目標の一つである。第一・第二号では、山田一

数少なき在庫ながら、希少価値のものばかり

夫、山崎俊男が、それぞれ特集されている。『秋の雪』で水木彌三郎の名をよみがえらせたように、忘れられた多くの異才が、新鮮な衝撃を伴なって復権されることだろう。氏の透徹した鑑識眼と厳格・直截な批評に耐えるほどの作品は、よほどレベルの高いものにちがいない。

生田氏はまた、上田秋成・泉鏡花・日夏耿之介についての造詣で知られるが、かたわら、平賀源内にも、若い頃から深い関心を持つ。並はずれた書狂として自他共に任ずるだけに、その博識・学殖は、底知れない。

だが、生田氏のユニークさは、学問と愛書に満足せず、それらに裏打ちされた出版にまで、みずから手を染めたところにもある。「東の生田耕作」とも言うべき澁澤龍彦氏も、そこまではしない。

中身の濃い美本を造る——それは、青春時代からの夢だった。その夢の実現に、たった一人、手を借した若い女傑が居た。それが廣政かほるさんである。生田氏は四十代半ば、廣政さんは二十代後半だった。ある意味でサルトルとボーヴォワールのそれにも似た、二人の絆の歴史は、そのまま、奢灞都館の歴史でもあり、そしてまた、神戸の誇りでもある。

三十年前、私は、鋭さを全身にみなぎらせた、長身・白皙の新進助教授を、教室の隅から仰ぎ見て居た。だが、還暦を越されてなお、名著『ダンディズム』の著者たる先生は、颯爽たる剣士の面影を失なっておられない。その着流し姿は、この界隈（阪神御影駅の近く）の名物になっている。眼光は爛々として凡俗の徒を近づけない。先生のその若々しさの秘密の一つは、先生が全幅の信頼を寄せられる廣政さんへの熱愛にもあろう——とお見受けした。それほどまでに先生の心を把らえた廣政さんは、生っ粋のおおらかな神戸っ子である。

★奢灞都館
神戸市東灘区御影中町7—4—13
☎078・811・7503